

令和3年年12月6日朝礼

施設長 桑原英眞

新型コロナは、また新たなオミクロン変異株が出現して、やはり用心しているのが正解でしょう！

2か月前の10月1日からは国の緊急事態宣言も解除されました。そして、10月中旬以降は不思議なくらい新型コロナ感染症患者が全国的に急激に減少に向かいました。なぜ急激に減少したのか学問的にはまだ確定できておりませんが、群馬県の警戒度は11月6日より警戒度1に緩和され、当館の警戒レベルもレベル1となりました。願わくばこのまま収まって欲しいというのが正直なところですが、群馬県は最近再びくすぶり始めたのではないかとデータもあります。そして、新変異株のオミクロン株が出てきたことで、次の第6波が来る危険度がさらに高くなりました。未だ要注意の継続ということです。

何度も言いますが、油断は禁物です。そして私たちに出来ることは、これまでと同じです。基本原則の3密回避・換気・マスク・黙食・等の新しい生活様式の実践です。

いよいよ本格的な冬に向かい、益々、新型コロナ、インフルエンザ、普通の風邪、とも区別し難い症状で始まる新型コロナですが、気を引き締めて行きましょう。

下記の3つがスタッフがこれからもしばらくの間とるべき行動です。

- 1、「5日ルール」はやや緩和されますがリスク回避の基本は継続です。
- 2、部屋の十分な換気・食事は黙食・休憩時も含めたマスク着用と手指衛生の徹底。
- 3、職員自身の体調不良・職員家族の体調不良に当たっては、欠勤することをいとわない事、またその人を責めない事。

一人ひとりの努力が重なって、私たち全体の力になります。

もうしばしの間、新型コロナ侵入防止・発生防止、にご協力をお願い致します。

